

# タケ・サイト 経産省選定、JIS化へ

化学製品メーカーのタケ・サイト（静岡市駿河区）が産業廃棄物を原材料に製造する生コンクリート圧送先行材がこのほど、中小企業の製品技術の迅速な「標準化」を後押しする経済産業省の支援制度に選定された。同省によると、審査を経て

工場から排出される産業廃棄物として処理される生コンスラッジの微粉末を主原料に開発した。先行材は生コンを圧送する機材の配管の詰まりを防ぐ。現在の先行材の大半がモルタルで、使用量の増加と産廃化が課題になっている。

1年半以内の日本工業規格（JIS）化が見込まれる。

という。再資源化も可能で環境負荷低減に寄与する点も評価された。さらにCNF（セルロースナノファイバー）を活用して改良し、機能性を高めた。

北陸新幹線橋脚や新名神高速道路高架橋のほか、商業施設やホテルなど全国の建設現場で採用実績が広がっている。武田雅成社長は「JIS化が認められれば、公共工事をはじめ幅広い現場で取り入れられる可能性が高い。シェアを拡大していきたい」と話す。

同社が活用した経産省の「新市場創造型標準化制度」の選定は、県内で2例目。



タケ・サイトが開発した生コンクリートの圧送先行材